

まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価シート

令和3年度の成果について

令和4年8月

目 次

基本目標	事業名	担当課
1 地方における安定した雇用を創出する	1. 宝の土地活用推進事業	企画情報課
	2. サテライトオフィス推進事業	商工観光課
	3. 起業・創業バックアップ事業	商工観光課
	4. DMOによる戦略的な観光振興事業	商工観光課
	5. スポーツイベント振興事業	生涯学習課
	6. ふるさと会交流促進事業	商工観光課
	7. 宝のなぎさ交流促進事業	商工観光課
	8. 農産物等ブランド化推進事業	農林水産課
	9. 新規就農者支援事業	農林水産課
2 地方への新しいひとの流れをつくる	10. 民間賃貸住宅建設補助事業	地域整備課
	11. 宝の住まいる応援事業	企画情報課
	12. 宅地造成事業	地域整備課
	13. 空き家バンク事業	企画情報課
	14. 若者通勤サポート事業	企画情報課
	15. 奨学金返済助成事業	企画情報課

3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	16. 子育て世代包括支援センター活用事業	子育て応援室
	17. 不妊治療費助成事業	子育て応援室
	18. 未就学児の教育保育の質の向上	子育て応援室
	19. 児童遊戯施設整備事業	子育て応援室
	20. 宝たち成長お祝い事業	子育て応援室
	21. 宝たち検定チャレンジ事業	学校教育課
	22. 宝たちビジネスアカデミー事業	生涯学習課
	23. 宝の縁結び事業	子育て応援室
4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	24. 一般介護予防事業	健康福祉課
	25. 認知症総合支援事業	健康福祉課
	26. 在宅医療・介護連携推進事業	健康福祉課
	27. 地域包括支援体制の整備	健康福祉課
	28. 健康増進事業（がん検診）	健康づくり推進室
	29. 健康増進事業（特定健診・保健指導）	健康づくり推進室
	30. 地域組織育成事業	健康づくり推進室
	31. 地域交通政策推進事業	企画情報課
	32. 地域行事サポート事業	総務課

事業名	1. 宝の土地活用推進事業		担当 部局	企画情報課
総合戦略の 位置づけ	基本目標	稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする		
	施策	企業誘致の推進		
事業内容	企業誘致に適した用地の確保や企業が立地しやすい基盤整備を促進する。			

重要業績指標 (KPI)	達成度(%)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		累計	
		0.00%		0.00%								0.00%	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標	実績
企業立地促進及び商工業振興条例に係る助成金交付件数		0	0	0	0	0		0		1		1	0

実施した内容	<p>機動的に企業誘致に対応するため、令和2年8月に「アステラス前町有地確定測量及び登記業務」を実施。また、例年県で実施している工場適地調査にも、当該用地を掲載し、幅広く周知することとした。</p> <p>【参考】第1期期間中には、志雄中学校跡地の未利用敷地の利活用を図るため基本構想を策定した（平成31年3月）が、子浦川の浸水想定区域に入ることが判明し、計画は一旦保留となった。</p>
現 状	工場適地調査にも掲載したが、企業誘致の打診はない。
課 題	補助金制度は創設しているものの、独自性をPRできていない。 対象業種の絞り込みや、選ばれる町になるための訴求力あるコンセプト形成が必要と思われる。
今後の取組み	「自然がある」「補助金がある」だけでは、他自治体との差別化ができない。 選ばれる町になるためのコンセプト形成を行った上で、対象業種を絞り込み、誘致活動を行いたい。

事業費 (千円)	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額
	672	0			

事業名	2. サテライトオフィス推進事業		担当 部局	商工観光課
総合戦略の 位置づけ	基本目標	稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする		
	施策	企業誘致の推進		
事業内容	空き家、空き店舗等を活用したサテライトオフィスを誘致し、若者の地域定着を促進するため、企業等のニーズに対応した環境整備に取り組む。			

重要業績指標 (KPI)	達成度(%)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		累計	
		0.00%		0.00%		/		/		/		0.00%	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標	実績
サテライトオフィス誘 致件数		0	0	0	0	0	/	0	/	1	/	1	0

実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年12月に、県補助金に準じた補助金制度を創設。 令和4年1月～3月に、決裁者マッチングツールを利用して、副町長と企業の決裁者が直接、面談を行った。
現 状	<ul style="list-style-type: none"> 補助金制度を創設したが、問い合わせはない。 決裁者マッチングツール（企業の決裁者への手紙送付）は、企業から予想以上の反響があり、現状の業務体制では継続困難になったことから、今後は本町への進出を検討している企業のみと関係性を保つこととして、令和4年3月で途中解約した。（当初の契約期間：令和4年1月から6月まで）
課 題	<ul style="list-style-type: none"> サテライトオフィス誘致をする前に、今後のまちづくりをどのように進めるのかを固める必要がある。 企業が参入しやすくするためには、お試しサテライトオフィスの整備及び進出を希望する企業に提示できる空き物件、空き土地の整理が必要である。
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> まちづくりの戦略を策定するなかで、まちづくりに欠かせない業種等を明確にしたうえで、それに合致する企業誘致の推進を検討する。 企業が参入しやすくするためのお試しサテライトオフィスの整備を行う。

事業費 (千円)	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額
	0	1,089	/	/	/

令和3年度 総合戦略施策評価シート

事業名	3. 起業・創業バックアップ事業		担当 部局	商工観光課
総合戦略の 位置づけ	基本目標	地方における安定した雇用を創出する		
	施策	町内での起業・創業を目指す相談・応援体制の整備		
事業内容	町と創業支援事業者（金融機関、商工会等）が連携し、町内で起業・創業を目指す方に対して、相談・応援が出来る体制の構築を図る。			

重要業績指標 (KPI)	達成度(%)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		累計	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標	実績
		創業相談※による起業 件数：5年間で5件	0.00%	400.00%									
		1	0	1	4	1		1		1		5	4

※創業相談とは町、商工会、のと共栄信用金庫、北國銀行、日本政策金融公庫への創業相談及び創業塾の受講を指す。

実施した内容	<p>平成28年度から商工会と町が協力し、起業希望者を対象として創業塾を開催や、金融機関と連携した創業に関する相談窓口を設置している。これまで計14人が起業している。その他、起業準備を進めている者が数人おり、商工会の専門員が起業相談を継続している。</p> <p>令和3年9月には創業塾2022が開催され、受講者11人の内2人が創業に至った。（令和3年度の創業4件の内、他の2件は商工会への創業相談による創業）</p> <p>11月には創業支援事業担当者連絡会が開催され、コロナ禍での創業支援状況や、アフターコロナにおける創業支援のあり方について、意見交換を行った。</p>
現 状	<p>起業しようと考えている人や更なる成長を目指している起業後まもない事業者を対象に、起業に係る基礎知識習得のための創業塾を開催している。また、商工会や金融機関と連携し、創業等支援相談窓口を設置し、起業希望者の相談に応じている。</p> <p>令和3年度より、中部経済産業局ほくりく創業支援ネットワークが設立され、石川県、富山県の市町村、事業者支援関連団体等による意見交換会を行っている。</p>
課 題	<p>創業相談者数、創業件数ともに前年比で増加しており、コロナ禍を通じ、創業に対する関心は高まっているように感じられるが、地域の賑わいにまで繋がらない可能性のある創業者が見受けられる。地域に賑わいをもたらす業種等を明確にする必要がある。</p>
今後の取組み	<p>現状の取組の継続</p> <p>地域に賑わいをもたらす業種等を明確にし、これに基づいた要綱改正または新規支援制度の構築を検討する。</p>

事業費 (千円)	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額
	208	3,828			

事業名	4. DMOによる戦略的な観光振興事業		担当 部局	商工観光課
総合戦略の 位置づけ	基本目標	稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする		
	施策	観光産業の振興		
事業内容	観光・まちづくりに関わる各機関・団体の役割を明確にして連携することで、効果的かつ効率的な事業推進に努めるとともに、必要な機能を担う新組織としてDMOを設立する。 DMOが観光・まちづくりの舵取り役を担い、CRMマーケティング（顧客関係管理）を実践するとともに、事業者の成長意欲、町民のシビックプライドの醸成を図り、持続できる地域づくりに繋げる。			

重要業績指標 (KPI)	達成度(%)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	ポイントカード会員数 (CRMマーケティング対象者)		83.51%	93.21%							
		10,750	8,977	10,950	10,207	11,150		11,350		11,550	

実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> 観光マーケティングの基礎となる観光客入込数及び宿泊者数の属性等のデータ化を進めた。 CRMマーケティングを実践するためのポイントカードの基礎データを収集した。 経済循環を把握するために産業連関表の作成及び分析を実施した。 <p>また、地域経済循環に関する講演会を開催し、地域経済循環の考え方について、関係者への周知を図った。</p>
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ポイントカード事業 売上額（対前年度比111%） 加盟店 62店舗（R3.3.31）→64店舗（R4.3.31）※2店舗増 会員 8,977人（R3.3.31）→10,207人（R4.3.31）※1,230人増 観光統計 日帰観光客入込数 267,263人（R2年度）→300,533人（R3年度）対前年度比112%、33,270人増 宿泊者数 5,692人（R2年度）→4,817人（R3年度）対前年度比85%、875人減
課 題	<ul style="list-style-type: none"> DMO事業を進めるための体制構築及び関係者等の意識改革 観光客等の来訪目的等の把握 ポイントカード会員数の増は、コロナ禍によるポイントキャンペーン等による影響が大きく、収束後どのような事業展開を進めていくか 産業連関表の活用方法
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> DMO事業の推進にあたっては、関係者等と意見交換を深め、先進地の視察等によりまちづくりへの意識を醸成するとともに、今後のまちづくり戦略の策定に向け取り組む。 観光分野において基礎データを収集するとともに、来訪者にアンケートを実施し来訪目的等を把握する。 ポイントカードの効果的なデータ収集・整理を進め、CRMマーケティングの構築を進める。 産業連関表の活用方法の検討を進める。

事業費 (千円)	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額
	12,981	32,172			

事業名	5. スポーツイベント振興事業		担当 部局	生涯学習課
総合戦略の 位置づけ	基本目標	稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする		
	施策	観光産業の振興		
事業内容	町内のスポーツ資源、観光資源を活かし、スポーツ関係のイベント開催、合宿誘致を通じて、スポーツによる交流人口の拡大を図るとともに、スポーツツーリズムの環境を整備し、誘客の体制を整え、地域経済の活性化につなげる。			

重要業績指標 (KPI)	達成度(%)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
ポイントカード町外会員数 (CRMマーケティング対象者)		105.88%		119.66%							
		3,399	3,599	3,500	4,188	3,600		3,700		3,800	

実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域再生マネージャー事業（外部専門家活用助成）により、スポーツによるまちづくりを担う組織として、NPO法人宝達スポーツ文化コミッションの人材育成及び運営体制の強化を図った。 ・NPO法人宝達スポーツ文化コミッションのポイントカード会に加盟。
現 状	<p>◎スポーツ施設 13施設</p> <p>◎スポーツイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宝浪漫マラソン（令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、昨年度に続き、宝浪漫マラソン本大会の開催を見送り、実際のコースを走る代替イベントを約1カ月間実施した。参加者延べ人数は420人で、実人数は366人であった。） ・宝達山ヒルクライム（令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、中止となった。） <p>◎ポイントカード町外会員 3,599人（R3.4.1）→4,188人（R4.3.31）※589人増</p>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者やスポーツイベント参加者の属性やアンケートによる意向の把握 ・既存のスポーツ資源のほか、観光及び自然資源やスポーツイベント、ゴルフ場など民間施設との連携 ・建物の改築工事を行っていない施設については、老朽化が著しい。 ・合宿誘致としての宿泊施設がない。
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・宝達スポーツ文化コミッションと町内店舗の連携強化により地域経済の活性化を進める。 ・これまでの施設利用者やイベント参加者の入込数等のデータ化を進める。 ・合宿の誘致については、宿泊施設として廃校の有効利用が理想と考えるが、学校の統廃合の進捗状況により検討したい。 ・①スポーツ施設やマラソン・ヒルクライムなどのスポーツ資源、②山・海・海岸などの自然資源も含めた観光資源、③ゴルフ場などの民間施設などの活用、それらを融合させて交流人口及び関係人口の拡大を図り、ポイントカード町外会員数を増やしていきたい。

事業費 (千円)	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額
	4,127	2,550			

令和3年度 総合戦略施策評価シート

事業名	6. ふるさと会交流促進事業		担当 部局	商工観光課
総合戦略の 位置づけ	基本目標	稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする		
	施策	観光産業の振興		
事業内容	関東ふるさと会と連携を図り、交流人口の拡大による賑わいの創出やまちづくりを進めることで、持続可能な地域づくりに繋げる。			

重要業績指標 (KPI)	達成度 (%)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
		ポイントカード県外会員数 (CRMマーケティング対象者)	675	706	725	774	775		825		875

実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> SSTR2021が10月に開催され、本町独自の歓迎イベントを実施。関東ふるさと会や商工会等の関係団体と共に取り組んだ。 関東ふるさと会の定期総会は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年度に引き続き開催ができなかった。 関西ふるさと会設立に向け、町とふるさと会役員候補が意見交換会を行った。
現 状	<ul style="list-style-type: none"> R4年5月開催のSSTR2022については、実行委員会を立ち上げ、さらに充実した歓迎イベントを実施することとなった。 関東ふるさと会役員と町が意見交換を行い、令和4年度は定期総会を開催する予定。 関西ふるさと会については、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、具体的な設立時期は未定。 ポイントカード県外会員 対前年度比 68人増
課 題	<ul style="list-style-type: none"> SSTRの歓迎イベントにおける関係団体の役割の明確化 関西ふるさと会の設立 町外のポイントカード会員に対するポイントカードの取組みや観光情報を発信するツールの構築 本町への体験ツアー実施などによる交流人口の拡大
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> SSTRの歓迎イベントについて、関東ふるさと会を含めた関係団体の役割を明確化し、応援体制の充実を図る。 関西ふるさと会については、役員候補と意見交換を行う等、設立に向けた準備を進めたい。 DMO事業等のまちづくりの推進にあたっては、多様な関係者の関わりや取り組みが必要となってくるため、関東ふるさと会とも連携を進めていきたい。

事業費 (千円)	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額
	50	100			

事業名	7. 宝のなぎさ交流促進事業		担当 部局	商工観光課
総合戦略の 位置づけ	基本目標	稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする		
	施策	観光産業の振興		
事業内容	今浜海岸の千里浜景観地（町有地部分）について、浜辺を活かした新たな交流拠点を創出し、誘客促進を図る。			

重要業績指標 (KPI)	※暦年	令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
	達成度 (%)	56.92%		48.17%							
	町内宿泊者数	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
		10,000	5,692	10,000	4,817	10,000		10,000		11,000	

実施した内容	<p>開発事業者候補と令和3年9月28日に事業用定期借地権設定予約契約を締結。第一期工事として、店舗（飲食及び物販）、第二期工事では宿泊所を予定。予定契約日から2年以内の建設着手が条件。</p> <p>【参考】令和2年12月に開発事業者を公募した。飲食事業者から1者の応募があり、令和3年2月に選考委員会を開催し、開発事業者候補として選定した。</p>
現 状	<p>令和4年6月時点において、開発事業者候補からは、設計図面は作成段階との報告を受けている。県や町への許認可手続きもこれからの予定。</p> <p>また、千里浜浸食が顕著となっており、今後の千里浜の養浜等の取組を注視する必要がある。</p> <p>なお、KPIとなる町内宿泊者数については、コロナ禍および企業誘致がなされたなかったことから低い達成度となった。</p>
課 題	<p>開発事業者候補が建設着手をするまでには、まだ一定程度の時間を要することが想定される。</p> <p>開発事業者候補は町有地に隣接する県町共有地での開発も構想として持っており、今後県との協議が課題。</p> <p>当該用地において、千里浜なぎさドライブウェイの通行確保は重要な要素である。</p>
今後の取組み	<p>開発事業者候補の事業着手に向けては、町としても綿密に連絡を取り、許認可手続き等も協力できる部分は支援をしていく必要がある。</p> <p>県町共有地での開発事業については、県との協議を進めていく必要がある。</p> <p>国・県・近隣市町と協調し、養浜・護岸等に努める。</p> <p>千里浜についての地元情報は随時提供し、緊密な連携を図りながら交渉を進めていく。</p>

事業費 (千円)	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額
	0	550			

事業名	8. 農産物等ブランド化推進事業		担当 部局	農林水産課
総合戦略の 位置づけ	基本目標	稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする		
	施策	町独自のブランド品のPR・開発		
事業内容	町独自のブランド品の構築と熟成を目指し、農業生産団体事業者等によるPRや商品開発等に対し、必要経費の一部を助成することで、農産物等のブランド化を推進し、付加価値を高め収益の増加につなげ、産業の活性化を図る。また、ふるさと納税の返礼品につながる農産物の商品開発等にも努める。			

重要業績指標 (KPI)	達成度(%)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		累計	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標	実績
		農産物等のブランド化 取り組み件数	0	2	1	2	1		1		-		3

実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> 「黒蜜姫」の商標登録が完了したことから、ブランディングの一環として、いちじく部会が作成した専用出荷箱に支援を行い市場出荷させた。また、販路拡大等を図るため9月に東京の高級果物専門店で生産者と4年連続となるPR活動を行った。更にはテレビ朝日系列で全国放送された。 いちじくの生産量確保の一環として、部会が導入した電動剪定ばさみに支援を行った。 県のブランド品目であるエアリーフローラの生産拡大や商品化率の向上のために必要となるビニールハウスの導入に対し、支援を行った。
現 状	<ul style="list-style-type: none"> 後継者不足が生産者の生産意欲を減少させている中、ブランド化に取り組む意欲のある生産者が少なくなっている。 生産者の減少により、生産量も減少し続ければ、産地として存続できなくなる。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ブランド化を行いたい生産者等に対し、関係機関と連携し支援を行う組織づくりが課題である。 生産量の確保を図るための人の確保が課題である。
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 「黒蜜姫」の更なるブランディングを構築することで、町特産いちじくのブランド力の強化を目指していく。また、生産量の確保のため、生産者への支援も図っていく。 ルビーロマンやエアリーフローラについては、生産規模の拡大や商品化率向上等に必要な施設及び機械の導入支援をし、ブランド品目の生産拡大の加速化を図る。 R4年度から町独自の施策として産地づくり事業を展開し、いちじく、ブドウ、すもも、花木といった特産品の生産量の確保を図るため、生産者やJA各部会に対し、可能な限り支援していく。

事業費 (千円)	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額
	2,302	4,895			

事業名	9. 新規就農者支援事業		担当 部局	農林水産課
総合戦略の 位置づけ	基本目標	稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする		
	施策	新規就農者の確保		
事業内容	50歳未満の就農意欲を高め、経営が不安定な就農直後（5年以内）の所得を確保するため、国等の事業を活用し支援していく。また、農作物の栽培管理技術等の習得のための実務研修や里親制度の導入、営農に必要な農地や施設、機械の確保等の支援をするとともに、就農後も営農相談等の支援を町独自に行うことにより、新規参入者の確保定着（農力確保）に努める。			

重要業績指標 (KPI)	達成度(%)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		累計	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標	実績
		新規就農者	50.00%	0.00%									
		2	1	2	0	2		2		2		10	1

実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> J Aはくいの5部会の総会時期にあわせて、意見交換を行い就農者の掘り起こしを行った。 (いちじく部会、ぶどう部会、スモモ部会、花木部会、志雄施設園芸組合) 5人の継続者とも、営農相談等の際に、新規就農に対する意見交換を行い就農者の掘り起こしを行った。 定住就農を推進するため、地域おこし協力隊1人を採用し、R4.4から3年間の活動を予定している。 紋平柿を栽培している、山崎・東間地区の生産者と、現状・課題・今後についての意見交換を行った。
現 状	<ul style="list-style-type: none"> 継続5人が国の支援制度を活用し就農している。 J Aはくい押水いちじく部会やぶどう部会とは、部会の役員会に参加し定期的な意見交換を行っている。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> 就農直後は経営的にどうしても不安定であることから、県、町、J Aなどのサポート体制を強化していく。 新規就農希望者が就農しやすい仕組みをつくる。
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 支援金の給付期間及び給付終了においても、営農が持続できるよう営農相談を行うなど、生産者やJ Aなどの関係団体等と連携しながら取り組んでいく。 地域おこし協力隊の活動を通じ、新規就農者の確保を図っていく。

事業費 (千円)	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額
	7,500	7,500			

事業名	10. 民間賃貸住宅建設補助事業		担当 部局	地域整備課
総合戦略の 位置づけ	基本目標	本町とのつながりを築き、本町への新しいひとの流れをつくる		
	施策	居住環境の整備		
事業内容	町内に民間賃貸住宅を新築する場合、補助金を交付することにより、町内に民間賃貸住宅の増加を促し、定住促進を図る。			

重要業績指標 (KPI)	民間賃貸住宅建築件数	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		累計	
	達成度 (%)	0.00%		0.00%								0.00%	
	5年間で5件	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標	実績
		1	0	1	0	1		1		1		5	0

実施した内容	<p>○第1期（平成27年度～令和元年度）において、目標の5件に対し7件（42戸）の建築件数実績があった。</p> <p>○令和3年度 6月補正予算に民間賃貸住宅建設補助事業補助金（3棟分、15,000千円）を計上し、補助制度についてHP等で周知を図った。</p> <p>民間賃貸住宅の建設促進を図るにあたり、単身世帯向けも想定し、1戸あたりの延床面積の要件緩和（50㎡以上→30㎡以上）を行うため、補助金交付要綱を改正し、令和3年4月1日から施行した。</p>
現 状	<p>○第1期建築の民間賃貸住宅の入居状況（令和4年2月28日現在） 入居率100%（42戸/42戸）</p> <p>○令和3年度の建築実績はなし （令和3年度に、旧志雄病院隣地（薬局跡地）に3棟の民間賃貸住宅の建築計画があり、6月補正予算で補助金を予算化した が、コロナ禍の影響による資材の高騰などから業者が建築を見送ったため、実績はなし。）</p>
課 題	○制度の周知に努めているが、第1期において一定の建築実績があったため、今後の需要が明確ではない。
今後の取組み	<p>○民間賃貸住宅の建設促進を図り、若者世帯等が気軽に本町に住める住環境の整備を図る。</p> <p>○引き続き、制度の周知に努める。</p>

事業費 (千円)	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額
	0	0			

事業名	11. 宝の住まいる応援事業		担当 部局	企画情報課
総合戦略の 位置づけ	基本目標	本町とのつながりを築き、本町への新しい流れをつくる		
	施策	居住環境の整備		
事業内容	①本町に定住するため、新築又は建売住宅等を購入した若者又は移住者に対し、奨励金を交付し、定住促進を図る。 ②町内の民間賃貸住宅に入居する若者（新婚・子育て世帯）に対し、家賃補助を行い、入居者の生活を支え、定住促進を図る。			

重要業績指標 (KPI)	達成度 (%)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		累計	
		193.33%	140.00%							66.67%		目標	実績
		町外からの転入世帯数 (15件/年)	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	75
		15	29	15	21	15		15		15			

実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ・民間賃貸住宅家賃補助金の申請件数は22件（うち 新規：町外6件/町内2件、継続：町外11件/町内3件） ・住宅新築等奨励金の交付件数は21件（町外15件、町内6件） <民間賃貸住宅家賃補助金> 月額家賃の補助率：月額上限1.5万円（最大36か月間） <マイホーム取得奨励金> 支給額：100万円 加算額：町内業者活用50万円 45歳以下の町外からの転入1人につき20万円を加算(加算限度額100万円)
現 状	住宅取得支援としては、県内他市町と比較しても充実した内容となっている。 R4年度より、基本支給額を20万円増額し、120万円となる。
課 題	制度拡充に関する効果的な周知方法
今後の取組み	定期的に広報で周知するとともに、HP、SNS等も活用した周知を行う。 定住促進協議会と連携することで、移住希望者に対する一体的なサポート体制の構築を図る。

事業費 (千円)	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額
	43,319	29,672			

事業名	12. 宅地造成事業		担当 部局	地域整備課
総合戦略の 位置づけ	基本目標	本町とのつながりを築き、本町への新しいひとの流れをつくる		
	施策	居住環境の整備		
事業内容	若者をはじめとする移住希望者が、本町の恵まれた自然環境を活用した住環境の中で、安心・安全、健全で快適な生活を営むことができる住宅建設の基盤となる宅地を造成する。			

重要業績指標 (KPI)	分譲区画数		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		累計	
	達成度(%)		0.00%		0.00%								0.00%	
	5年間で50区画		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標	実績
			0	0	5	0	10		15		20		50	0

実施した内容	○令和3年度 第2次宝達志水町総合計画では、住み続けられるまちづくりを基本計画として、良質な生活基盤の充実を図るため、町民が暮らしやすい住環境の整備に向けて、宅地分譲を行うこととしている。それを踏まえ、計画的な宅地供給の推進を図るため、町営住宅河原団地において敷地境界確定測量及び土地表題・分筆・合筆登記を行った。
現 状	○調査では、30歳代の子育て世代をターゲット像とし、災害に対する安全性等が確保される区域において、利便性、快適性、安全性の3つの視点から、住宅用地として開発可能な地域を抽出し、さらに現地の状況や敷地の規模、上下水道の整備状況等も考慮し、住宅団地の候補地を選定している。 結果、令和3年12月24日の町長ヒアリングにおいて、ムラケン跡地で町営住宅を建設し、その残地を原則今池方式を基に宅地分譲する方針を決定した。
課 題	○町営住宅整備基本計画・基本設計業務の発注により、町営住宅の整備計画を具体化し、宅地分譲する範囲を決める必要がある。宅地分譲は、原則今池方式を基に行うため、ノウハウのある所管課で実施することについて、検討する必要がある。
今後の取組み	○町営住宅整備基本計画・基本設計業務、測量・地質調査業務、擁壁工事を行い、住宅用地の整備を進めていく。

事業費 (千円)	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額
	4,510	1,006			

事業名	13. 空き家バンク事業		担当 部局	企画情報課
総合戦略の 位置づけ	基本目標	本町とのつながりを築き、本町への新しい流れをつくる		
	施策	居住環境の整備		
事業内容	①バンクに登録する空き家を募集し、物件の現状調査を行い、随時バンクへ登録し、希望者が随時閲覧可能な環境を整備する。 ②空き家バンクに登録されている空き家の改修に要する経費の一部を助成することにより定住促進を図る。			

重要業績指標 (KPI)	達成度 (%)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		累計	
		260.00%		140.00%								80.00%	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標	実績
空き家バンク利用による 移住者数 (5人/年)		5	13	5	7	5		5		5		25	20

実施した内容	空き家バンク制度の周知及び登録件数の増加を図るため、固定資産税納税通知書に啓発チラシを同封するとともに、広報・ホームページ等による制度の周知を行った。 <空き家改修費等助成金> (R3実績：2件) ①改修費：町内業者活用上限100万円、町外業者活用上限50万円、②家財道具撤去：上限10万円、③清掃費用：上限3万円 ※加算額：45歳以下の町外からの転入1人につき20万円を加算(加算限度額100万円) 空き家バンク登録奨励金を新設し、各区長に説明、案内するとともに区長会研修会にて制度の説明、空き家バンク登録への協力依頼を行った。 <空き家バンク登録奨励金> (R3実績：3件) 区を通して、空き家バンク登録された場合、区と所有者に奨励金2万円ずつ交付
現 状	固定資産税納税通知書に同封した啓発チラシにより、町外在住の空き家所有者に登録依頼を実施 (R3年度新規登録：13件) 空き家バンクを活用した成立件数 (R3年度：4件) (内訳 町内：0件(0人)、町外：4件(7人))
課 題	空家は年々増加傾向にあるが、空家バンクへの登録件数は少ない。(令和3年度空家バンク登録件数23件、町内空家約450棟) 空き家所有者に対し、空き家バンク登録を積極的かつ分かりやすい周知が必要。
今後の取組み	地域おこし協力隊を移住コーディネーターとして委嘱、コーディネート業務を(株)ぶなの森(定住促進協議会)に委託、連携することでさらなる空き家物件の掘り起こしや移住者が安心して地域コミュニティに溶け込めるよう、区長はじめとする地元住民と受入地域の意識醸成を図る。 連携協定を締結したジャパンサービスと協力し空き家相談会を定期開催し、空き家バンクの登録、空き家問題の解消を図る。

事業費 (千円)	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額
	1,364	826			

事業名	14. 若者通勤サポート事業		担当 部局	企画情報課
総合戦略の 位置づけ	基本目標	本町とのつながりを築き、本町への新しいひとの流れをつくる		
	施策	町外通勤者への支援		
事業内容	若年世代の町民で、金沢市以南及び県外の就労場所に通勤している方に対し、補助金を交付することで、転出する若者の抑制を図る。通勤者1人につき年間2万円。			

重要業績指標 (KPI)	若者通勤サポート事業利用件数		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		累計	
	達成度(%)		100.00%		114.29%								42.86%	
	70人/年		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標	実績
			70	70	70	80	70		70		70		350	150

実施した内容	<p>広報、ホームページにおいて周知を行った。また、裏面に申請書を付けたチラシを全戸配布(7月託送)したほか、成人式において新成人にチラシを配布した。 前年度申請者に通知をして申請漏れがないか確認した。</p>
現 状	<p>令和3年度申請件数：80件 【過去実績 H29：60件、H30：62件、R1：59件、R2：70件】 令和3年度転出者：336人(内18歳～29歳：167人)</p>
課 題	<p>申請数は横ばいから微増しており、制度が定着している。一方、転出者数は増加傾向にあるが他市町にあまりない制度であり、引き続き若者の転出抑制策のひとつとして取り組む。</p>
今後の取組み	<p>引き続き周知に努める。 ・広報、ホームページへの掲載、チラシの全戸配布及び成人式での配布。 ・昨年申請者で今年度未申請の人への連絡。</p>

事業費 (千円)	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額
	1,408	1,606			

事業名	15. 奨学金返済助成事業		担当 部局	企画情報課
総合戦略の 位置づけ	基本目標	本町とのつながりを築き、本町への新しいひとの流れをつくる		
	施策	若者の地元定着の促進		
事業内容	町内への定住促進を図るため、大学等の卒業後、町内に定住した方を対象に、在学中に借り入れた奨学金の一部を補助する。			

重要業績指標 (KPI)	達成度 (%)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		累計	
		0.00%		0.00%								0.00%	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標	実績
若者定住促進奨学金返 済助成者数		0	0	5	0	10		15		20		50	0

実施した内容	第2期総合戦略事業として町独自の助成制度導入を検討するため実態を把握すべく、令和3年1月にアンケート調査を実施し、結果分析及び他団体の事例を収集した。
現 状	アンケートを実施したが、回答数が8名と少なかった。 調査対象：49名のうち、回答者数8名（回答率16.3%）
課 題	回答数が少ないため、正確に実態を捕捉しているか精査を行いながら案件組成する必要がある。 また、回答数が多くても、「実態値≠理想値」ではない点に留意しながら案件組成する必要がある。
今後の取組み	現時点では、奨学金を受給したUターン就職者に対する奨学金返済助成を想定している。 しかし、Uターン就職の根本的な原因は、地域に魅力ある雇用先がないことと考えられる。 奨学金返済により、町への定住が行われるのか、ライフスタイルのモデル設定を精査すべきと考える。

事業費 (千円)	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額
	0	0			

事業名	16. 子育て世代包括支援センター活用事業		担当 部局	子育て応援室
総合戦略の 位置づけ	基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
	施策	妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援		
事業内容	子育て世代が孤立し悩みを抱え込まないように、妊娠期から出産・育児まで切れ目のない支援を実施する。			

重要業績指標 (KPI)	達成度 (%)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
		利用者の満足度 (6点以上の評価者の割合)		0.00%	200.00%						
		準備段階	50%	100%	55%		60%		70%		

実施した内容	R2.8月に母子保健アプリ（宝っ子すくすくアプリ）を導入し、母子手帳交付時や訪問、健診時に登録を勧め、活用を促した。妊娠期から子育て期まで、幅広い相談に対し、個々に応じた支援を実施した。
現 状	妊産婦や子どもの健康データの記録・管理や予防接種のスケジュール管理、アプリから町のHPにすぐアクセスできるようにし、情報を探しやすくする等、アプリを活用し、妊娠・出産・子育てまで切れ目ない支援につなげた。
課 題	センター利用者に実施した満足度アンケートでは、100%の人が10点満点中6点以上だった。しかし、アプリの利用に関しては、利用していない人も多く、利用する必要性を感じないという声もあった。現在アプリで子育て情報やお知らせの配信ができていない現状があり、今後は積極的に情報発信に活用し、利用者に活用してもらえる資源にしていく必要がある。
今後の取組み	センター利用者にアンケートを継続し、子育て世代包括支援センター事業の満足度の向上を目指す。 (アプリの内容に加え、子育て世代包括支援センター事業についてのアンケート項目（1項目2点）を設定し、満足度を把握する。） 健診受診者にニーズ調査を実施し、支援センターへの要望を把握する。 アプリを積極的に活用し、情報配信していく。 個々に合った相談・支援を継続する。

事業費 (千円)	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額
	4,497	4,497			

事業名	17. 不妊治療費助成事業		担当 部局	子育て応援室
総合戦略の 位置づけ	基本目標	結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
	施策	妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援		
事業内容	不妊治療費にかかる費用が多額で子どもを諦めざるを得ないのは、その家庭にとっても、町にとっても大きな損失であるため、助成額を拡大し、不妊治療受診者の増加を図る。			

重要業績指標 (KPI)	達成度(%)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		累計	
		107.14%		126.67%								42.50%	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標	実績
不妊治療費助成申請件数		14	15	15	19	16		17		18		80	34

実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> 一般不妊治療費助成（タイミング療法・人工授精など）： 4件 1年あたり10万円限度、連続する2年間分まで助成 特定不妊治療費助成（体外受精・顕微授精など）： 15件 石川県の助成を受けた夫婦を対象として、1回の治療につき上限100万円（県助成額を除いた額）を助成 不育治療費助成： 0件 1年度につき上限30万円を助成
現 状	<ul style="list-style-type: none"> 一般不妊治療・不育治療費：町独自に同様の制度拡充（所得制限の撤廃、対象者の拡充） 特定不妊治療：県と同様に制度拡充 * 所得制限：夫婦合算730万円未満 → 撤廃 * 石川県の助成額：1回15万円（初回のみ30万円） → 1回30万円 * 対象者：戸籍上の夫婦のみ → 戸籍上の夫婦＋事実婚の夫婦
課 題	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年4月1日より不妊治療が保険適用されるため、新たな助成事業の検討が必要。
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 保険適用後も、子育て世帯等が安心して子どもを産み育てることができるよう、助成事業の充実を図る。

事業費 (千円)	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額
	4,103	5,350			

事業名	18. 未就学児の教育保育の質の向上		担当 部局	子育て応援室
総合戦略の 位置づけ	基本目標	結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
	施策	子ども・子育て支援の充実		
事業内容	子どもたちの発達に見合った教育・保育を実施する。保育・教育の内容は認定こども園がそれぞれの独自性を発揮して考案することを土台とし、その上で外部の意見を取り入れながら質の向上を図る。			

重要業績指標 (KPI)	子ども子育て支援アンケート満足度の向上	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	達成度(%)	/		/		/		/		/	
	満点5点 3.5点(良い)	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
		-	/	-	/	-	/	-	/	3.5	/

実施した内容	3歳児リトミック教室(4保育所:年8回) 4歳児キッズスポーツ教室(4保育所:年8回) 5歳児英語教室(4保育所:年8回) 4つの保育所にインターネットのWi-Fi環境を整備し、3つの保育所にインターネット対応のテレビを導入した。 携帯アプリで保育所と保護者をつなぐ連絡ツールのコドモンを導入した。
現 状	年齢別に英語活動、キッズスポーツ教室、リトミック教室を実施している。 テレビでインターネット動画を見れるようになった。
課 題	指定管理を実施している町内認定こども園で同一の保育・教育だけでなく、それぞれの独自性を取り入れられるかがポイントであり、インターネット活用して英語教室を実施するなど、オンラインの幼児教育を取り入れること検討していく。
今後の取組み	保護者にアプリでのアンケート調査を実施し、より良い保育・教育の環境を構築していく。

事業費 (千円)	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額
	-	-	/	/	/

事業名	19. 児童遊戯施設整備事業		担当 部局	子育て応援室
総合戦略の 位置づけ	基本目標	結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
	施策	子ども・子育て支援の充実		
事業内容	平成31年2月に実施した子育てニーズ調査において、未就学児・就学児が遊べる施設の整備を望む声が多数（※1）を占めていること、及び友達との交流や遊びを通じた運動などは心身の発達に重要であることを鑑み、屋内型の児童遊戯施設の建設を検討する。 ※1 未就学児の保護者で72.0%、小学生の保護者で50.9%			

重要業績指標 (KPI)	達成度(%)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	進捗率(%)	100.00%	50.00%								
		20	20	40	20	60		80		100	

実施した内容	【令和2年度】候補地の現状を整理したうえで、各候補地における施設整備の方向性について想定し、設定した評価項目に基づき比較、決定し候補地の選定を実施した。また、整備の方向性、敷地全体計画、屋内施設の機能検討、整備計画案を取りまとめ宝達志水町児童遊戯施設基本構想を策定した。 【令和3年度】設置遊具の選定のため遊具の視察を実施した。
現 状	天候に左右されない遊び場、遊び・学びの場となる活動ルーム、誰でも気軽に立ち寄れる憩いと交流の場を想定している。
課 題	児童遊戯施設の設置場所・設置遊具・施設運営を含め、人件費や経常経費がかかるため、整備工事だけでなく維持管理費も含めて試算し、適地に遊戯施設を設置する必要がある。
今後の取組み	児童遊戯施設実施設計（令和4年度） 児童遊戯施設建設工事（令和5年度） 児童遊戯施設運営開始（令和6年度）

事業費 (千円)	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額
	759	0			

事業名	20. 宝たち成長祝い事業		担当 部局	子育て応援室
総合戦略の 位置づけ	基本目標	結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
	施策	子ども・子育て支援の充実		
事業内容	<出産祝金>第1子以降の出産に対し、出産祝金を贈ることで、合計特殊出生率の引き上げを促進する。 <成長祝金>町の宝である子どもたちの成長を祝うとともに、若者が安心して子育てが出来るよう、子どもの成長に合わせ祝金を贈る。			

重要業績指標 (KPI)	達成度(%)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	年間出生数 (H29~R1の平均:55人)	76.36%	92.73%								
		55	42	55	51	55		55		55	

実施した内容	<出産祝金>出生届の届出人(申請者)に対し、祝金として現金10万円とポイントカード会金券5万円分を贈る。誕生日が転入から1年以内の場合は1年経過後に申請可能。 平成30年3月から、金券郵送時に宝達志水町ポイントカード会作成の加盟店を記載したチラシを同封している。 <成長祝金>各年齢(6歳、12歳、15歳、18歳)に達する児童・生徒及び保護者で町内に1年以上住所を有する場合(基準日:2月1日)、その保護者に祝金として一律3万円を贈る。12月の対象者リスト作成後に申請用紙を郵送し、申請の受付後に審査し3月に口座振込により支払う。 ※出産祝金、成長祝金ともに開始から4年目となる令和元年度からの支給方法について金額等の見直しを行った。
現 状	<出産祝金>令和3年度申請件数:49人(735万円) ※第1子:23人、第2子以降:26人 <成長祝金>令和3年度申請数:361人(1,083万円) ※6歳:57人、12歳:84人、15歳:92人、18歳:128人
課 題	両祝金の支給対象者アンケートでは「良かった」「続けてほしい」の意見が大半であるものの、当事業のみで出生数の増加を図ることは難しく、子育て環境の向上を下支えする事業として継続していきたい。
今後の取組み	令和元年度に事業内容を見直しており、現行制度を続ける。 今後も支給対象者へのアンケートを実施し、事業方針の参考とする。

事業費 (千円)	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額
	17,555	18,267			

事業名	21. 宝たち検定チャレンジ事業		担当 部局	学校教育課
総合戦略の 位置づけ	基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
	施策	検定受検料補助事業		
事業内容	英語や漢字等の検定を受検する児童生徒の保護者に対し、検定料の1/2を助成することで検定料の負担を軽くするとともに、児童生徒の挑戦意欲や学習意欲の向上を図る。対象者は、1人につき当該年度中複数回補助金の交付を受けることが出来る。			

重要業績指標 (KPI)	中学校生徒の検定3級以上の取得率	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	達成率(%)	46.67%		70.00%							
	生徒数の30%	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
		30%	14%	30%	21%	30%		30%		30%	

実施した内容	各種検定（英語検定、漢字検定、数学検定、理科検定）を受検した町内小中学校に在籍する児童生徒の保護者を対象に、検定料の1/2の補助を行った。 また、事業の周知のため、保護者宛に周知用チラシと申請書を配布した。
現 状	中学生については、総数296名中159名が何らかの検定を受検しており、補助金申請数は165件（英検79件、漢検65件、数検21件）である。小学生の補助金申請者は5名で、補助金申請数は6件（英検3件、漢検1件、数検2件）である。 なお、中学生のうち英検の3級以上の取得人数は62人で、取得率は20.9%である。
課 題	児童生徒の挑戦意欲や学習意欲の向上につながるよう制度の周知を図り、検定3級以上の取得率の増加を目指す。
今後の取組み	検定開催時期にチラシと申請書を配布し、保護者への周知を図る。各種検定に挑戦できるよう1人につき当該年度中複数回申請可能とし、2級以上は検定料の全額、準2級以下は検定料の半額を補助する。令和4年度より意欲向上のため、上位の級に合格した児童生徒を表彰することとしている。【対象】中学生…準2級以上 小学生…英検・数検・理検5級以上、漢検4級以上

事業費 (千円)	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額
	262	294			

事業名	22. 宝たちビジネスアカデミー		担当 部局	生涯学習課
総合戦略の 位置づけ	基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
	施策	教育環境の充実		
事業内容	小学生を対象として、模擬株式会社を設立し、商品開発、販売、決算等の一連の流れを体験することにより、学校での学習の意義の再認識や、社会、株式、税金、金利等の仕組みを学ぶ機会を創出することで、未来の町を担う「人財」を育成する。			

重要業績指標 (KPI)	達成度(%)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		累計	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標	実績
		5年間で5件	0.00%	100.00%									
		1	0	1	1	1		1		1		5	1

実施した内容	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、参加する児童及び保護者の健康及び安全面を含め、総合的に判断した結果、令和3年度は事業内容を変更し、地元業者が子どもたちの先生となり、仕事について話を聞いたり体験したりする授業を実施した。
現 状	令和3年度は、商工会に協力を求め、先生となる地元業者を紹介してもらうことで地域とのつながりがもてるよう図った。
課 題	新型コロナウイルス感染症の拡大により安心・安全に配慮した事業内容の検討が必要である。
今後の取組み	商工会や地域の経営者など、地域とのつながりがもてる取り組みを続けていく。 この事業委による体験が、将来、地元根ざした企業やビジネスを起こすきっかけづくりになれるように、あらゆる角度から支援の充実を図る。

事業費 (千円)	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額
	0	32			

事業名	23. 宝の縁結び事業		担当 部局	子育て応援室
総合戦略の 位置づけ	基本目標	結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
	施策	結婚支援の充実		
事業内容	結婚アドバイザーが、結婚相談登録者のマッチング及び結婚相談アドバイスを行う。 成婚祝金、報償金の交付及び婚活イベントを実施した団体に補助金を交付する。			

重要業績指標 (KPI)	婚活支援事業による婚姻数		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		累計	
	達成度(%)		0.00%		0.00%								0.00%	
	5年間で20件		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標	実績
			4	0	4	0	4		4		4		20	0

実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> 結婚アドバイザーによる結婚相談登録者との面談回数：3回 結婚アドバイザーによる結婚相談登録者のお見合いの立ち合い：12回 ※結婚アドバイザーが結婚相談活動を行った時に提出する活動報告書により確認（令和3年4月分～令和4年3月分）
現 状	結婚アドバイザー：5人 結婚相談登録者：16人（男性13人、女性3人） ※令和4年3月末現在 令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、婚活イベントを実施できなかった。
課 題	1 結婚アドバイザー及び結婚相談登録者数の増。 2 女性が参加しやすい婚活イベントの開催。 3 婚活イベントを実施していくか検討していく。
今後の取組み	①町独自の婚活イベントの開催。（町の良さを盛り込んだ婚活イベントの開催） ②結婚相談、婚活セミナー、結婚アドバイザー養成講座の開催。 ③婚活企画団体への支援。 ④SNS等を活用して婚活情報の発信及び婚活イベントの参加呼びかけの実施。

事業費 (千円)	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額
	147	120			

事業名	24. 一般介護予防事業		担当 部局	健康福祉課
総合戦略の 位置づけ	基本目標	ひとが集う、安心して暮らす事ができる魅力的な地域をつくる		
	施策	自立支援・重度化防止に向けた取組の強化		
事業内容	高齢者を対象とした「地域のサロン」や介護予防教室等、通いの場の更なる充実を進め、介護予防の推進や自立した生活を目指す。また、送迎付きの介護予防教室を充実させ、社会参加や生きがいづくりを支援し、認知症予防や生活機能の低下を防ぐ。			

重要業績指標 (KPI)	達成度(%)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
保険者のインセンティブにおける評価指標		40.0	34.7	45.0	34.7	50.0		55.0		60.0	

実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域サロンへの活動支援：新型コロナウイルス感染症への感染防止対策・再開支援、買い物マルシェの導入など ・送迎付き介護予防教室の開催：開催 83回、参加者 18人、延 510人 ・介護予防サポーター研修会：1回 参加者 19人 ・地域介護予防活動支援事業（健康づくり推進員地区活動への補助）：介護予防教室の開催 29回、参加者 1101人
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎付き介護予防教室は会場変更を繰り返しながら開催の継続に努めている。 ・コロナ禍において地域のサロンや各種介護予防教室が活動を休止したため、外出機会や人との交流が減ったことで活動量が低下。認知機能や生活機能の低下から介護保険の対象となる人の増加が懸念されている。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でも高齢者が参加しやすい新たな介護予防の取組みの創出。 ・高齢者の自立に向けた支援や多様なサービスの充実。 ・高齢者の心と体を孤立化させない町づくり。
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり推進室と連携して、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に向けて取り組む。 ・町内全域、特に山間部を中心とした、高齢者に対する移動支援や移動販売等の充実。 ・介護予防サポーターや健康づくり推進員へのフォローアップを強化し、地域での介護予防活動を活性化させる。

事業費 (千円)	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額
	2,582	1,736			

事業名	25. 認知症総合支援事業		担当 部局	健康福祉課
総合戦略の 位置づけ	基本目標	ひとが集う、安心して暮らす事ができる魅力的な地域をつくる		
	施策	自立支援・重度化防止に向けた取組の強化		
事業内容	高齢者が安心して生活できるよう、認知症の早期発見、早期対応の体制を整備し、家族等の負担を軽減できるよう認知症施策を推進する。認知症の理解を深めるための知識の普及・啓発を行ない、地域の見守り体制や相談窓口の充実などの支援体制を整備し、認知症の人に優しい町づくりを目指す。			

重要業績指標 (KPI)	達成度 (%)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		107.25%	90.89%								
	保険者のインセンティブにおける評価指標	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
		40.0	42.9	45.0	40.9	50.0		55.0		60.0	

実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーターの養成：250人（累計2,237人） 認知症カフェの開催：32回、参加者222人、*新型コロナウイルス感染症により一部中止あり 認知症フォーラムの開催：参加者66人 認知症地域支援推進員の配置：11人 認知症職集中支援チームによる相談支援：4件、チーム員会議：0回 認知症見守り支援事業：どこシル伝言板登録者及びSOSネットワーク新規登録者 4人
現 状	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化に伴い、認知症高齢者が増加している。高齢化率39.2%（令和4年3月末）。要介護認定者883人のうち、認知症状のある人は654人（認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上）であり、全体の約74%を占めている（令和3年10月時点）。 フォーラムやサポーター養成講座等で認知症の理解を推進しているが、地域の認知症への理解や支援が不十分である。 認知症や老化による物忘れや判断力の低下などから、ゴミ出しや買い物等、生活に支障のある人が増加している。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の人とその家族を地域で支える仕組みや相談支援体制づくり（地域づくり）。 徘徊高齢者を支援する社会資源や地域の見守りの不足。 介護と子育てなどダブルケアをしている働く世代や高齢者が通うスーパー等の企業に認知症理解が浸透していない。
今後の取組み	<p>①認知症に関する相談窓口の周知、居場所づくり、認知症カフェの開催等、本人や介護者への相談支援体制を整備する。</p> <p>②徘徊高齢者の見守り体制を構築するため、“どこシル伝言板”を活用した徘徊模擬訓練の実施等、地域での支援体制を整備する。</p> <p>③企業や小中学校等へ継続的に認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の人やその家族が安心して暮らせる地域づくりに向けて支援体制を構築する。</p>

事業費 (千円)	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額
	1,107	1,163			

令和3年度 総合戦略施策評価シート

事業名	26. 在宅医療・介護連携推進事業		担当 部局	健康福祉課
総合戦略の 位置づけ	基本目標	ひとが集う、安心して暮らす事ができる魅力的な地域をつくる		
	施策	健康寿命延伸等に向けた在宅医療・介護の連携充実		
事業内容	医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で安心して住み続けるため、在宅医療・介護の現在ある課題とそれを解決するための対応策について、多職種と連携し検討を行う。			

重要業績指標 (KPI)	達成度(%)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		127.00%	119.33%								
	保険者のインセンティブにおける評価指標	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
		70.0	88.9	75.0	89.5	80.0		85.0		90.0	

実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療・介護連携コーディネーターの配置：1人 相談支援：281件（R3年4月～R4年3月） ・在宅医療・介護関係者の情報共有：退院時支援ルールの作成 ・地域の医療・介護資源の把握：「医療・介護・福祉資源ガイドブック」の作成と活用 ・緊急医療体制の整備：独居高齢者および高齢夫婦世帯への救急医療情報キットの配布 524人 ・在宅医療介護連携フォーラムの開催：参加者 107人（終末期ケアフォーラム 在宅における「いのちのケア」） ・多職種研修 事例検討会：1回 30人
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・退院に向けての介護職と医療職との連携が上手くできず、突然の退院などで在宅支援に不安あり。 ・急変時の救急医療体制を整備するため救急医療情報キットの配布したが、実績把握や情報の管理等活用状況の把握が出来ていない。 ・終末期ケアフォーラムで看取りケアの啓発を行っているが、エンディングノートの活用や意思決定支援は未実施。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・入退院支援ルールを活用し、在宅に向けての円滑な入退院支援が必要。 ・救急医療情報キットの活用状況や適切な情報管理が必要。 ・エンディングノートや人生会議を通じ高齢者の意思決定支援が必要。
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・入退院支援に関する従事者向けの研修会を行い、入退院支援ルールの周知・活用に取り組む。 ・急変時に備え、救急医療情報キットの実態把握を行い、適切な運用に向けて取り組む。 ・終末期ケアに関する住民向け講演会等で在宅看取りを推進する。エンディングノートの普及や人生会議に取り組む。

事業費 (千円)	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額
	1,583	2,813			

事業名	27. 地域包括支援体制の整備		担当 部局	健康福祉課
総合戦略の 位置づけ	基本目標	ひとが集う、安心して暮らす事ができる魅力的な地域をつくる		
	施策	健康寿命延伸等に向けた在宅医療・介護の連携充実		
事業内容	高齢者が住み慣れた地域で安心して住み続けるため、サービスの基盤づくりを推進し、地域包括支援センターの機能強化や地域の支えあいのネットワークづくり等を推進する。			

重要業績指標 (KPI)	達成度 (%)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
		保険者のインセンティブにおける評価指標	50.0	53.8	55.0	51.6	60.0		65.0		70.0

実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ・総合相談支援：260件 ・介護予防ケアマネジメント(ケアマネ相談支援)：191件 ・地域ケア会議：61件 ・食の自立支援事業：21人、延べ3,583食 ・緊急通報装置設置：10人 ・家族介護者支援：3人 ・オレンジカフェ参加者：222人 ・見守りネットワーク：要援護者台帳の登録 956人 個別支援計画 896人 (93.7%) ・福祉座談会： *新型コロナウイルス感染症のため中止
現 状	各種協議会等から地域の高齢者の現状を把握し、地域づくりや社会資源などの課題や対応策を検討している。また総合相談やケアマネジメント会議、個別地域ケア会議等を通じて、高齢者の生活課題を把握し、対応策について多職種で検討するとともに、見守りネットワーク体制の整備を推進している。
課 題	高齢化に伴い、独居や高齢夫婦のみ世帯、認知症高齢者の増加から、介護・福祉サービス等では対応が難しいケースが増えている。買い物や移動支援、ゴミ出しなどの生活課題の増大があり、生活支援サービスや地域の助け合い、見守りネットワークの構築が必要。
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・総合相談支援を充実し、地域ぐるみでの支援策や、見守りネットワークの推進に取り組む。 ・高齢者への在宅福祉サービスを充実し、必要な支援を行う。 ・独居および高齢夫婦のみ世帯を把握し、要援護者台帳の整備、個別支援計画の100%実施に取り組む。 ・生活支援サービスとして、生活支援ボランティアを養成し支援者を確保する。

事業費 (千円)	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額
	6,691	7,984			

事業名	28. 健康増進事業（がん検診の推進）		担当 部局	健康づくり推進室
総合戦略の 位置づけ	基本目標	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する		
	施策	健康づくりの推進		
事業内容	がん検診の推進により、がんの早期発見・早期治療に努め、健康寿命の延伸を目指す。			

重要業績指標 (KPI)		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
胃がん検診受診率 (%)	達成度 (%)	81.50%		74.50%							
		20	16.3	20	14.9	20.5	20.5	20.5	20.5	21.0	21.0
肺がん検診受診率 (%)	達成度 (%)	73.50%		77.62%							
		20.0	14.7	21.0	16.3	22.0	22.0	23.0	23.0	24.0	24.0
大腸がん検診受診率 (%)	達成度 (%)	76.50%		80.00%							
		20.0	15.3	21.0	16.8	22.0	22.0	23.0	23.0	24.0	24.0
子宮頸がん検診受診率 (%)	達成度 (%)	88.00%		84.88%							
		20.0	17.6	20.5	17.4	21.0	21.0	21.5	21.5	22.0	22.0
乳がん検診受診率 (%)	達成度 (%)	88.33%		84.08%							
		24.0	21.2	24.5	20.6	25.0	25.0	25.5	25.5	26.0	26.0

実施した内容	がん検診 ●集団健診(会場2箇所) 15回 (6, 7, 10月) ●個別検診(女性がんのみ、県内の指定医療機関) 7月～11月
現 状	●集団検診 胃がん:657人、肺がん:931人(40～64歳:234人、65歳以上:697人)、大腸がん:958人、乳がん:387人、子宮頸がん:308人 ●個別検診 乳がん:30人、子宮頸がん:53人 ※実績値は5月頃にデータを受信予定。
課 題	各がん検診の受診率の低下傾向
今後の取組み	個人宛てハガキ、広報、ケーブルテレビ等での受診勧奨を工夫・強化する。 乳幼児健診、子育て支援センター、健康づくり推進員への研修会を通して女性がん検診の普及啓発に努める。 小中学校PTA等への働きかけを試みる。

事業費 (千円)	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額
	8,126	9,663			

事業名	29. 特定健康診査・特定保健指導の充実		担当 部局	健康づくり推進室
総合戦略の 位置づけ	基本目標	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する		
	施策	健康づくりの推進		
事業内容	高齢者の医療の確保に関する法律により内臓脂肪の蓄積に起因した生活習慣病に関する健康診査及び特定健診の結果により健康の保持に努める必要がある者に対する保健指導の実施。			

重要業績指標 (KPI)		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		達成度(%)		115.40%		103.09%		/		/	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
特定健診受診率(%)	目標値	50.0	57.7(暫定)	55.0	56.7(暫定)	57.0	/	58.0	/	60.0	/
	実績値										
特定保健指導率(%)	目標値	70.0	65.0(暫定)	73.0	65.0(暫定)	75.0	/	77.0	/	80.0	/
	実績値										

実施した内容	特定健康診査 ●集団健診(会場2箇所) 15回(6, 7, 10月) ●医療機関健診(3医療機関) 6月～10月 特定保健指導 地区担当制にて保健指導を実施
現 状	特定健康診査受診者数1,263人 【内訳】集団健診受診者677人、医療機関健診261人、受療調査201人、人間ドック15人、持参・訪問102人、事業主健診7人 特定保健指導対象数 143人
課 題	40代、50代の受診率が低い 特定保健指導率が目標を達成出来ていない
今後の取組み	40代、50代の受診率が低いことから対象者台帳や重症化予防対象者の台帳を活用し受診勧奨を強化する 特定保健指導には定期的に対象者名簿を作成すること

事業費 (千円)	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額
	10,729	10,235	/	/	/

事業名	30. 地域組織育成事業		担当 部局	健康づくり推進室
総合戦略の 位置づけ	基本目標	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する		
	施策	健康づくりの推進		
事業内容	健康づくり推進員や食生活改善推進協議会の活動を支援する			

重要業績指標 (KPI)		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
食生活改善推進員活動 参加総数(回)	達成度(%)	100.00%		94.44%							
	目標値	18	18	18	17	18		18		18	
食生活改善推進員活動 参加総数(人)	達成度(%)	49.46%		115.00%							
	目標値	560	277	300	345	400		500		560	
健康づくり推進員活動 参加総数(回)	達成度(%)	29.09%		24.55%							
	目標値	110	32	110	27	110		110		110	
健康づくり推進員活動 参加総数(人)	達成度(%)	14.19%		117.80%							
	目標値	3,200	454	500	589	1,000		2,000		3,200	

実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> 食生活改善推進協議会 児童クラブ・宝達高校・宝寿荘への出前講座 子ども認定保育園での「食育のチラシ」と「野菜の種子」の配布 塩分濃度計を使った減塩普及活動 健康づくり推進員 安心して教室を開催するために、感染症予防対策を確認にした各ブロックでの健康教室の開催 感染症予防対策のためのチラシの配布
現 状	<ul style="list-style-type: none"> 食生活改善推進協議会 17回 345人 健康づくり推進員 27回 589人
課 題	<ul style="list-style-type: none"> 新規の担い手が少ない ブロックによって活動への意識の温度差がある。
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容を検討し、活動の充実を図る。 会員同士が情報交換ができるような研修会内容にする。

事業費 (千円)	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額
	632	277			

事業名	31. 地域交通政策推進事業		担当 部局	企画情報課
総合戦略の 位置づけ	基本目標	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
	施策	分かりやすく利用しやすい公共交通網の構築		
事業内容	時代に対応した公共交通網、高齢者の安心を支えるため、町民や公共交通事業者、関係機関と連携・協議しながら、より分かりやすく、より利用者のニーズに沿った公共交通網の構築を行う。			

重要業績指標 (KPI)	達成度(%)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
		利用者不満度の減少 (町民意識調査)	現状把握	33.66%	-	-	-	-	-	-	35.00%

実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に宝達志水町地域公共交通協議会を設立。まちづくりと連携し、地域にとって望ましい公共交通網の姿を明らかにする「地域公共交通計画」を令和4年3月に策定した。 地域住民の「生活の足」を確保するため、町有バス運行業務（スクールバス運行経費、コミュニティバス運行経費、福祉バス運行経費）の実施、デマンドタクシー運行事業補助金の支弁を行った。
現 状	<ul style="list-style-type: none"> 町民の9割弱は自家用車で移動しており、半数は町内への移動となっている。羽咋市やかほく市への移動も多い。 70歳代以上の2割弱が近い将来に運転免許返納を検討している。 コミュニティバス（無料）の利用者は増加している一方、デマンドタクシー（500円/回）の利用者は減少している。この原因としてデマンドタクシーからコミュニティバスへ利用者が移行していることが推測された。 コミュニティバスの約半数は老人福祉センター宝寿荘への利用者となっており、利用目的に偏りが見られた。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスの要望として、買い物利用等に対する利便性を高めて欲しいとの声があるが、スクールバスの空き時間を活用していることから、改善余地に限界がある。 デマンドタクシーの利用者が減少しており、改善策が求められていた。
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスのルート再編、デマンドタクシー運賃の見直し、南北シャトル便の新設などの地域公共交通の再編を令和4年10月から行うほか、「地域公共交通計画」に基づく施策を実施し、持続可能な公共交通の実現に資する。

事業費 (千円)	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額
	70,501	71,371			

事業名	32. 地域行事サポート事業		担当 部局	総務課
総合戦略の 位置づけ	基本目標	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
	施策	集落間の交流促進		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・集落間の連携強化を図るとともに集落機能の維持確保のために必要な支援を行い、持続的に地域の暮らしを守ることを推進する。 ・さらに、地域が抱える諸課題に対応するため、産学官連携などの幅広い分野において連携強化を図ることにより、地域の自然環境等を活かした取組や人的支援を推進する。 			

重要業績指標 (KPI)	ボランティア参加者数	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		累計	
	達成度(%)	130.00%		150.00%								56.00%	
	5年後で50人 (10人/年)	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標	実績
		10	13	10	15	10		10		10		50	28

実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第1期まち・ひと・しごと総合戦略の計画期間（H27～R1）において、北志雄地区（石坂、向瀬、走入、清水原、見砂）をモデル地区に選定し、集落間における課題等について協議検討を行ってきたところであり、集落間における除雪対応のため、一般コミュニティ助成事業を活用し、除雪機を整備（R1）している。 ・第2期まち・ひと・しごと総合戦略の推進にあたり、R3年11月に地域行事サポート懇談会を開催し、除雪機を活用した集落間連携及び行政の支援体制等について協議を行った。
現 状	・除雪機の活用を含めた北志雄地区における集落間連携の充実に向け、協議検討を進めている。
課 題	・集落支援員を中心として、地域が自発的かつ自立した集落間連携の取り組みを行うことが必要であり、引き続き行政からの情報提供等を含め、官民が連携して取り組む必要がある。
今後の取組み	・モデル地区である北志雄地区の取り組みを推進するため、集落間連携による協働作業について引き続き協議を進め、実施体制の充実強化を図る。

事業費 (千円)	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額
	110	108			